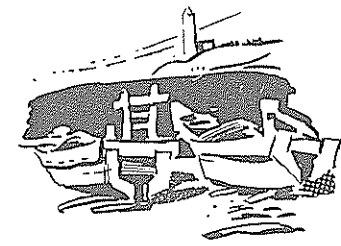


部落解放への道

部落のなりたち



徳川幕藩体制のなかで、庶民大衆から重い税金をとりあげ、それに対して不平不満をいったり、集団で反抗することをしないようにするため、大衆をバラバラに分裂させ互いに対立させるために、士農工商の身分制度をつくったことは前項までに説明しましたが、それだけではうまく行かないので、さらに四民の下へ賤民の身分をつくりました。この賤民の身分がどの時期に法的に定められたか、何年の何月から四民の下へ機多(えた)・非人(その他の賤民も)という身分がつくられたかについては、幕府や各藩から出された法令や文書を見てもはつきりしません。

戦国時代の終りころ戦国大名の一部で必ず身分設定のうごきがありました。賤民制度として整えられたのは、徳川氏の政権が固まりかけた十七世紀に入ってからです。各地の城下町を中心に賤民身分の固定化がすすみ、その後約百年以上の長い年月をかけて少しずつ制度として強化さ

れ、八代將軍吉宗の享保のころにようやく公的なものとして確立されたのです。制度としての賤民身分というものは、古代の賤民制が消滅して以来、七百年にわたって日本には法で定めた賤民というものは全くありませんでしたが、徳川幕藩体制のなかで十七世紀になって新しく設定されたのです。この制度は

イ、身分によるわくつけ
ロ、居住地の制限
ハ、職業の制限

人間というものは、いつも自分が誰かより優れている部分があるのだと考えなくては生きていけない弱さを持っています。これを実にうまく利用した残酷な分業支配の政策によってつくられたのです。

徳川幕府は、年貢や税金の対象となる百姓、町人以外の雑多な職業について、町人以外の生活状況(時に政治的な意図で)によ



ある母親の交通訓練

小学校にあがる長女に二カ月間の交通訓練をさせてから、入学させた母親がありました。

この若い母親は二カ月間を三期に分け、はじめの十日間は自宅から学校までのいっつかある道順について、その交通量、道路の見

とおし、横断歩道などの交通状態を実際に調べ、その中から最も危険の少ない道順を選び、わが子の通学する道順を決めました。

つぎの二十日間は、絵本やテレビで交通標識、自動車の性能、事故は注意によって防げることをそわそわやりやすくおしえました。

あとの一カ月間は遠く道通学路を実際に子供を連れて歩き

皮革製造にかかわる仕事があります。これは死牛馬の処理とも関係していますが、皮革は武器、馬具、装身具として武士にとっては大切なものでした。

その第二に、「役人村」といわれたように警察や行刑にかかわる仕事をさせられました。町や村の警備や巡回、罪人のたい捕や護送、牢番、刑罰の執行、目明しなど、探索捕吏の役目の手先に使われました。

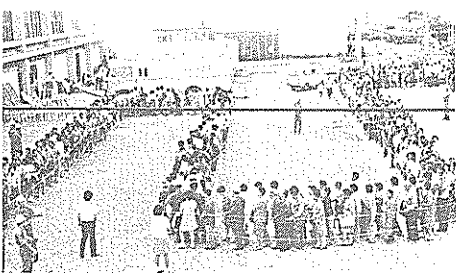
また百姓が重税や労役など、政治に不満をもつて騒ぎが起きるようになると、それを探索するスパイを命ぜられ、一揆がおこるとそれを鎮圧する手先に使われたのです。

役人村は民衆に対する封建的弾圧機構の末端にされたため、農民や町人の部落に対する反感が強まり差別は拡大されました。

社会の底辺の賤民が、その強制された仕事のために、また、その仕事を拒否できなかったために、民衆の憎しみと恨みのもとにされ手ひどい差別をうけ、部落の人びとは、平常のひどい差別に対する怒りを百姓一揆の弾圧のときにははらすとまったく返しがつづきました。

同じ被支配者である農民や町人と部落の人びとが、同胞あい含む悲劇を演じさせられたのです。

▲午前七時頃、早くもかけつけた一番のりのお二人。



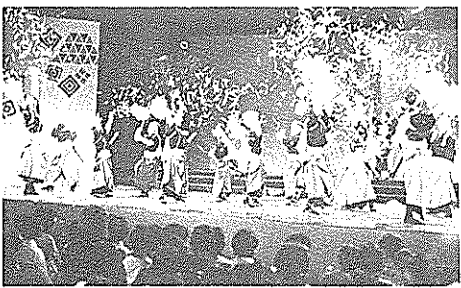
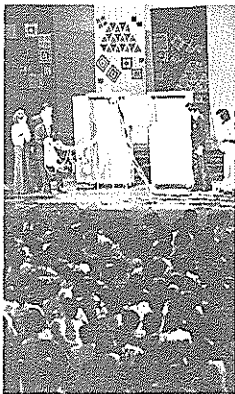
▲あわてなや。まだはじまりやせんきに。



ふるさとの歌まつりがやって来た

南国市からは、土佐オナナドリ十市の牛踊り、刈谷養照さんのいごっそう談義、東大紅が出演しました。

宮田輝アナウンサーのユーモアと土佐弁のやりとり、場内はしばしば爆笑のうす。南国市の歌まつりを満喫しました。



▲蓮池の太刀踊り。チビッコ剣士も頑張っている。

家中で交通傷害保険へ

市民交通傷害保険ができて六年目になります。はじめは一人一万ありの人が加入していましたが、年ごとに少なくなくなっています。こ

十一月一日から五月三十一日までの掛金は、一人二百八十円(一カ月分四十円)です。

申し込みは、農協、市役所公害環境課交通公害係(三階)へ市民交通傷害保険の加入者で事故にたい治療を続けている人へ

この間、交通事故はだんだん少なくなっているものの、車のスピードは上りつぱなして、重大事故が起っています。

万一に備え、あなたもぜひ、市民交通傷害保険に加入してください。

六カ月を過ぎましたら、治療中でも保険金の請求に市役所へおいでください。

事故にあったら、すぐ係までご連絡ください。

事故の日から二年を過ぎますと請求できなくなります。

トピックス

九月二十七日、市立体育館でふるさとの歌まつりの公開録画が行なわれました。

テレビの放送を見て、誰よりも喜んだのは、高知から県外に働きに出ている人たちがでしょう。なつかしい土地のなまり、かけぬける郷愁……

